

# 連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれある 3F  
TEL(052) 684-0003 FAX(052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <http://www.rengo-aichi.or.jp>

## 2022年度 愛知産業安全衛生大会に参加

7月7日、名古屋国際会議場センチュリーホールにおいて「愛知産業安全衛生大会」が開催され、愛知県下の安全衛生関係者約800名が参加し、連合愛知安全衛生センターからも6名が参加しました。

第13次労働災害防止計画（2018年度～2022年度）の最終年において、令和4年度死亡災害が増加しており、愛知労働局は「危なさと向きあおう」をキャッチフレーズに「危なさと正しく向きあい、労働者に任せた安全衛生「活動」から、事業者が行う安全衛生「管理」への原点回帰を提唱しています。



全国安全週間にすべての関係者が一体となって労働災害防止に努め、安全で健康な職場づくりに全力をあげて邁進することを参加者全員で共有しました。

## 令和4年度 健康づくり 指導者セミナーに参加

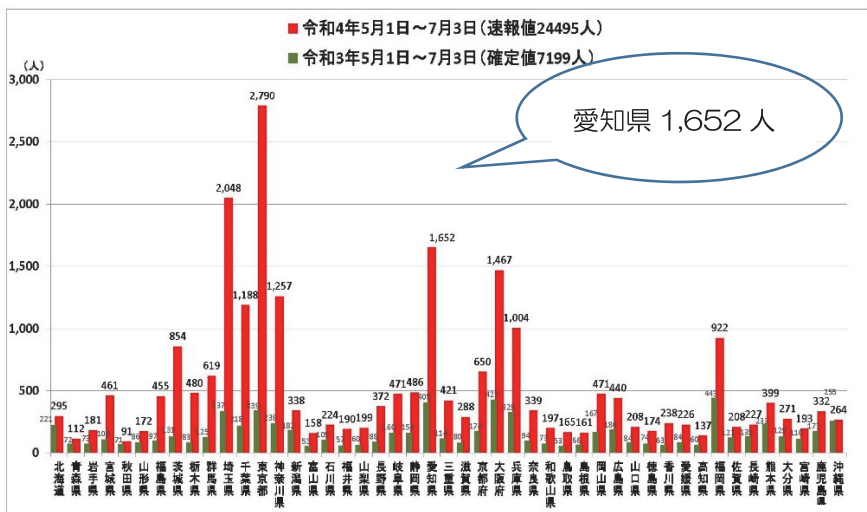
7月14日、連合愛知安全衛生センターと愛知県経営者協会が共催し、愛知県健康づくり振興事業団が主催する「健康づくり指導者セミナー」がWEBにて開催されました。本年は「始めよう！つながろう！職場の健康づくり」をテーマに職場の事例紹介、グループワークでの意見交換が行われ、職場での健康づくりにおける課題や課題解決に向けた行政での取り組み紹介がされ、主に企業の担当者が労働者の健康づくり（健康管理）について共通の悩みがある事や、高齢労働者の増加にあたり取り組むべき事等について、活発な意見交換がされました。



## 熱中症に嚴重警戒

異例の早さで梅雨が明け、記録的な猛暑となった6月、病院に運ばれた人は全国で1万5657人、死者は17人と6月としては2010年以降、最も多くなっています。

### 令和4年度 都道府県別熱中症による緊急搬送人員 前年同時期との比較（累計：5月1日から7月3日）



愛知県 1,652人

(出展:消防庁)

愛知県において5月から7月3日の2か月間で1,652人が救急搬送されています。全国的に気温が平年よりも高く、新型コロナウイルス感染が急激に増加していることから、8月も引き続き感染防止とあわせて、熱中症への対策が必要です。

## 2022年 6月度 愛知県の死亡災害発生状況

<7月8日現在速報値>

16人（1人） 対前年同期26人（5人）

※（ ）内は交通事故による死亡者の内数

6月の死亡災害0人

安全衛生 DVD 新作3本入荷!

安全衛生センターでは、連合愛知加盟組合での研修等に役立てていただくため、安全衛生に関するDVDを無料で貸し出しています。連合愛知ホームページの安全衛生センターのページに、貸出DVD一覧と利用申込書が掲載してあるので、積極的にご利用ください。

番号	入荷したDVD	時間
7-13	パワハラと指導の違いを学ぶ ～応用編～	26分
7-14	パワハラを解決するには ～4つの解決方法～	34分
7-15	パワハラの相談を受けるには	22分

# 私たちの職場における取り組み事例

第17回

杉浦 理事 日本ゴム産業労働組合連合 中央執行副委員長  
イノアック労働組合 中央執行委員長

## ■安全衛生の取り組み

ご安全に！

イノアックグループはゴム・ウレタン・プラスチック製品の製造と販売を手掛け、グローバルに拠点を展開しています。製造現場での大きな課題として暑熱対策が挙げられ、暑熱対策においては設備の熱源にとどまらず、建屋やレイアウトなどのハード面の改善や、休憩時間や休憩室、飲料水の提供などのソフト面の対応など多岐に渡り、ここ数年の活動においてWBGT値の見える化まで取り組みが進みました。「快適職場づくり」の一環で暑い時期に課題を挙げ、通年で対策を計画的に実行しています。

また、安全衛生委員会を3つの階層で実行し、判断・議論・実行を各階層で意識し取り組んでいます。法令に則り各事業所の安全衛生委員会が実行の機能を果たし、労使TOPが集合し海外を含めた全拠点での安全衛生委員会を行い判断と議論の機能を持ち、その中間で実務者が集合した決まりを守るための具体策を徹底的に議論する会議体を運営しています。この各階層での議論を通じて現場が守りやすい決め事になるような工夫をしています。

今後も妥協のない安全衛生活動を労使でとりくみ、ゼロ災めざして活動してまいります。共にがんばりましょう。



杉浦 理事

## 感染拡大第7波 愛知県嚴重警戒



7月に入り、再び新型コロナウイルスの感染者が増加に転じており、若年者の感染拡大が広がっています。感染者の増加を防ぐ手立ては、2020年2月最初の新型コロナウイルス感染者が発生して以降、3年目を迎える現在も、個々人の『自助による感染防止』措置にとどまり治療薬の開発、投与について国からの情報が少なく未だ、不安な状況が続いています。

### ワクチン接種情報 4回目接種対象者の条件

- 3回目の接種から5か月以上が経過した、**60歳以上の人**
- 18歳以上の基礎疾患のある人
- BMIが30以上の肥満の人
- 重症化リスクが高いと医師が認めた人

4回目接種は、新型コロナウイルス感染症の重症化予防を目的として実施するとされています。

『安全衛生センターだより』は  
連合愛知安全衛生センター HPにも掲載しています。  
<https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/dayori/>  
過去の『だより』も掲載していますので  
職場での研修会等に、是非ご活用ください

安全衛生センターだより➡



### 4回目接種の対象者と接種券について

接種間隔 3回目接種から5か月以上

使用ワクチン ファイザー、モデルナ

対象者 60歳以上



18歳以上の  
・基礎疾患のある方  
・重症化リスクの高い方



接種券 順次送付



自治体に申請が必要  
になる場合も



接種券の配布方法は自治体により異なります  
お住まいの自治体の情報をご確認ください

(出展:NHK)

※注

- ① 接種券の配布方法は自治体ごとに異なります
- ② 18歳以上、60歳未満の基礎疾患のある方は自治体へ接種券の申請が必要となる場合があります。自治体の情報をご確認ください。